

第1回 がんゲノム医療に関する調査

Topics

- ✓ 遺伝子パネル検査の保険適応取得後2ヶ月時点において、**遺伝子パネル検査を実施したことがあると回答した医師は25%**であった。診療科を問わず、採用率・使用経験率ともに、ゲノム医療中核拠点病院にて浸透が進んでいた。
- ✓ がんゲノム医療に関する懸念点としては「患者説明」が上位であり、遺伝性腫瘍が検査により判明する可能性や、必ずしも治療法に結びつかないことを患者にどう説明し納得を得るのかということがネックになっていることがうかがえた。
- ✓ がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療連携病院、その他施設など所属施設によって認知レベルや課題は異なっていた。しかしながら、**遺伝子パネル検査の今後の実施意向があることは半数以上の医師で確認できた**ため、今後の動向に注視したい。

調査背景・目的

- ✓ “がんゲノム医療元年”である本年6月、遺伝子パネル検査が保険適応を取得し、本格的にゲノム医療がスタートした。急ピッチで各施設において整備等が進められているものの、がんゲノム医療中核拠点病院の医師でさえも手探りな状況が続いている。
- ✓ 遺伝子パネル検査の浸透状況や、医師が抱える課題、さらに今後どのようにゲノム医療が浸透していくのかを継続的に把握していくために調査を行った。

調査概要

調査方法：インターネット調査（全国） 対象：100床以上の施設に勤務しており、直近1年間に
 調査期間：2019年7月16日～26日 固形がん患者5名以上に対して抗がん剤治療を実施した
 有効回答数： 医師

TOTAL	がんゲノム医療 中核拠点病院	がんゲノム医療 連携病院	左記以外の がん拠点病院	がん拠点病院 以外
1298s	136s	413s	247s	502s

調査項目

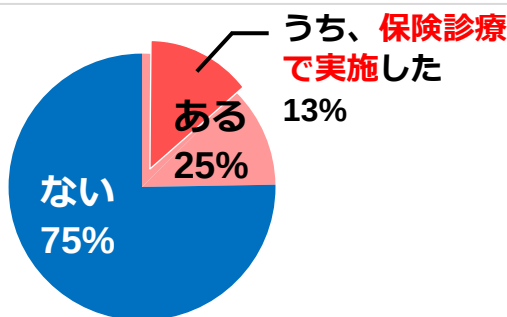
※第1回調査は保険適応取得から日が浅いため、「医師のマインド」を多めに把握

浸透度	- ゲノム医療・パネル検査 認知度(全体) - パネル別 採用・使用経験有無
実態把握	- がん種別 遺伝子パネル検査実施患者数 ✓ 保険診療にて実施した患者数
マインド 把握	- 今後の遺伝子パネル検査実施意向（CDx/CGP別） - CGP目的の検査実施タイミング - ゲノム医療／遺伝子パネル検査に対する懸念点 - 遺伝子パネル検査を勧めたい患者像 - 既存CDxとパネル検査の使い分け
情報入手	- がんゲノム医療に関する情報入手経路 - がんゲノム医療に関して欲しいと思う情報 - 患者／家族からの問い合わせ状況

調査結果 ※一部抜粋

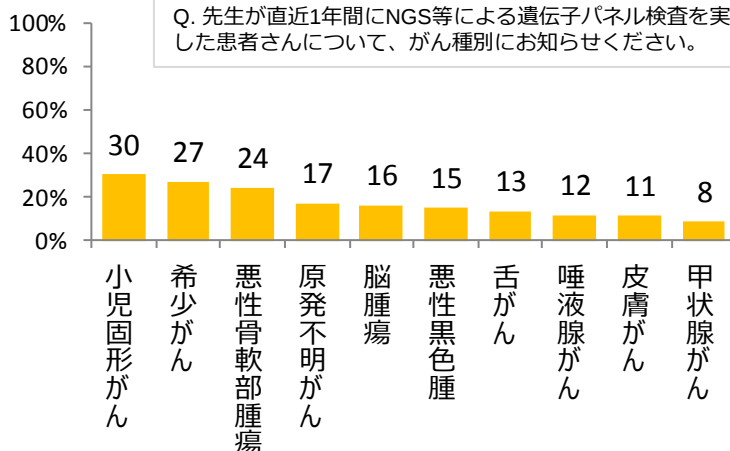
遺伝子パネル検査実施有無【n=1298】

Q. 先生は、直近1年間にNGS等による遺伝子パネル検査を実施したことはありますか。



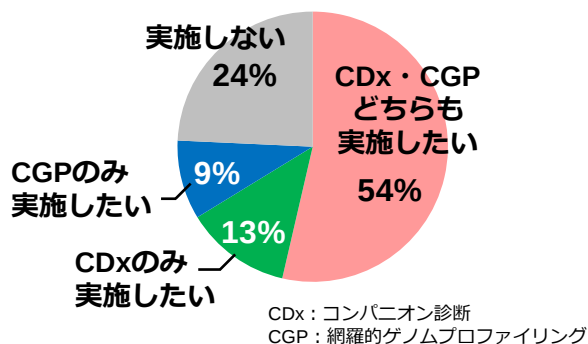
遺伝子パネル検査実施患者割合 (TOP10抜粋) 【n=1298】

Q. 先生が直近1年間にNGS等による遺伝子パネル検査を実施した患者さんについて、がん種別にお知らせください。



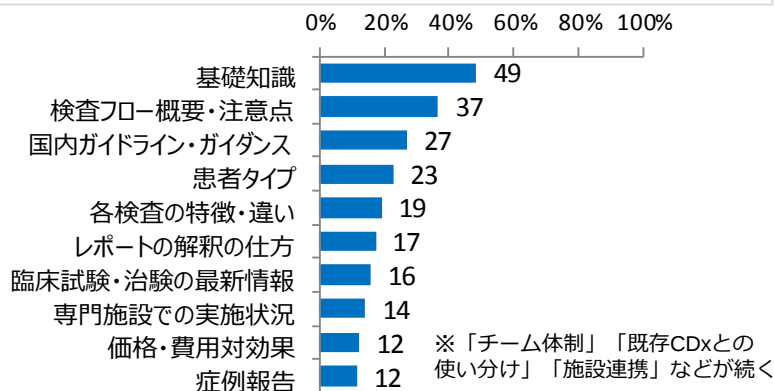
今後の遺伝子パネル検査意向【n=1298】

Q. 今後、保険診療として遺伝子パネル検査をCDxまたはCGP目的として実施したいと思いますか。



ゲノム医療に関して欲しい情報 (TOP10抜粋) 【n=1298】

Q. がんゲノム医療・遺伝子パネル検査に関して先生が欲しいと思う情報をお知らせください。



データ詳細についてはお気軽にお問合せください！

「遺伝子検査をよくやってる先生は何科？」「施設間の違いはある？」「ターゲット医師の評価は？」 etc...

データ費用

- ローデータのみ 100万円 (税別)
- ローデータ+集計データ 135万円 (税別)



※ターゲット医師のマッチングや、詳細分析、アウトプット作成等は別途ご相談ください。

★ **第2回医師調査**を企画 (2019年11月末実査予定)

★ その他患者調査、医師ヒアリングなども2020年前半に予定

オンコロジー領域の調査は、インテージヘルスケアへ！

本調査に関する
お問い合わせ

www.intage-healthcare.co.jp

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ13階 電話: 03-5294-8393 (会社代表)

メディカル・ソリューション部 オンコロジー領域専門グループ
メール: ant-onc@intage.com
担当: 安達 (あだち)

オンコロジー領域のことなら